

No.3

京林大だより



絵:京林大生 熊走君



京林大生 和知地域親善ソフトボール大会で準優勝

8月19日日曜日、わちグラウンドで行われた和知地域親善ソフトボール大会に、京都府立林業大学校の有志11名が参加しました。

第1試合、野間君の好投と熊走君のバッティングで競り合うと、最後は爲國君のダブルプレーで接戦を凌ぎ勝利を得ました。この流れが続くかと思われたのも束の間、疲れが出た林大生チームは第2試合で1対13の5回コールド負けを喫し、結果はBゾーン準優勝。試合は残念な結果に終わりましたが、地元の皆さんと林大生との間に確かな交流が育めたことと思います。

林大生は10月に開催される和知地区親善バレーボール大会にも参加する予定です。

林大生の住まい情報を 探しています！

林大新生生の
住居が足りない～？！



空き家・空き離れの活用に！

町や地域の活性化に！

森林ボランティアの
一環として！

来年度京林大に入学する学生の住まいが不足しています。

現在、林大生の住まいとして、京丹波町（和知地区）の2軒のご家庭に空き家を提供していただいておりますが、依然、学生の住居不足は深刻です。

日本の森林の未来を守る夢を抱いて全国各地からこの京丹波町に集まる学生たちを、地域の皆さんの力でご支援していただけませんか？

期間は1～2年間、住まいのご提供は有償、受け入れ家庭のご事情などを考慮の上、柔軟に対応いたします。

今年度の学生の下宿状況なども含め、親身にご相談させていただきます。まずはお気軽にお電話ください。

お問合せ窓口

- ◆京都府立林業大学校 電話 0771-84-2401
- ◆京丹波町役場 和知支所 電話 0771-84-0200



今日の林大スナップ

夏休み中の8月にも、林大生は京丹波町に姿を見せてくれました。



8月4日 林大オープンキャンパス
林大生による相談コーナー



8月25日 和知ふるさと祭り
露店にて

Pick Up!

9・10月の講義予定

◆9月29日 森林保護

林大の周辺で身近な樹木の病害虫について学びます

◆10月16日 特用林産

坂井研究林(京丹波町)でマツタケの適地判定と施業について学習します



校長室より

森林は水を作る？

最近集中豪雨が多くなりました。山に豪雨、谷川はたちまち増水。しかし、普通の降りなら、そんなに急増水はしません。水源地帯の森林には落ち葉が腐り、混じって出来る柔らかな隙間の多い土が発達していて、雨水をよくしみ込ませるからです。土にしみ込んだ水はゆっくりと時間をかけて谷川に出ます。従って、下流の川では急増水(洪水)が無く、天気が続いても渇水が起こりにくいのです。これを河川水量平準化といいますが、こうした森林の働きを「水源かん養」と呼んでいます。土の中をゆっくり動く間に、不純物が土に吸着されて、水がきれいになることも見逃せません。

ところで、水源地には良い森林が必要というの

は常識ですが、その理由を問うと「森林が水を作ってくれる」という人が案外多いのです。これは大間違いです。実は、森林樹木も生き物ですから、水を消費するのです。だから、山から出てくる水の量は、森林が無い方が多いのです。しかし、そこには「水量平準化」はありません。森林が使う水量は降水量換算年間数百ミリ、かなり多いのですが、わが国のように降水量の多いところでは、水の絶対量よりも「水量平準化」が大切なのです。降水量の少ない米国西部では、森林を伐採してその水消費を抑え、その分をダムに貯水するのが水源かん養という逆の例もあるのですが。

(校長 只木良也)